

経営比較分析表（平成30年度決算）

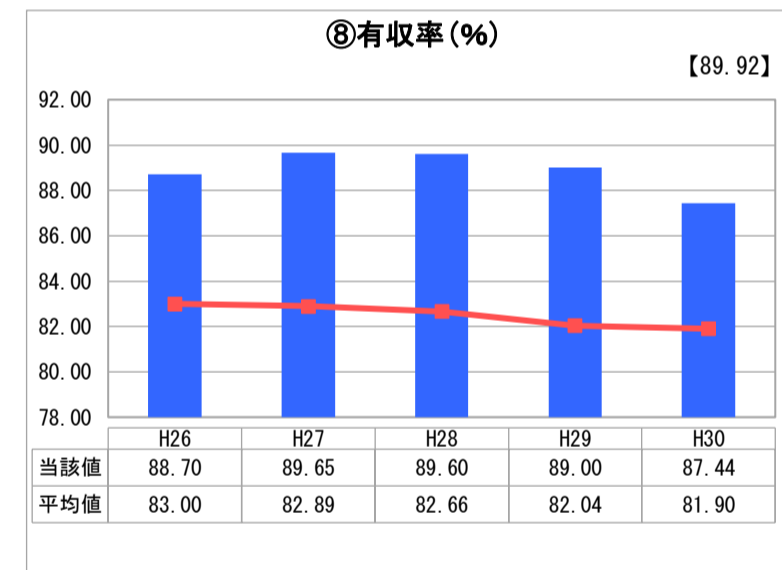
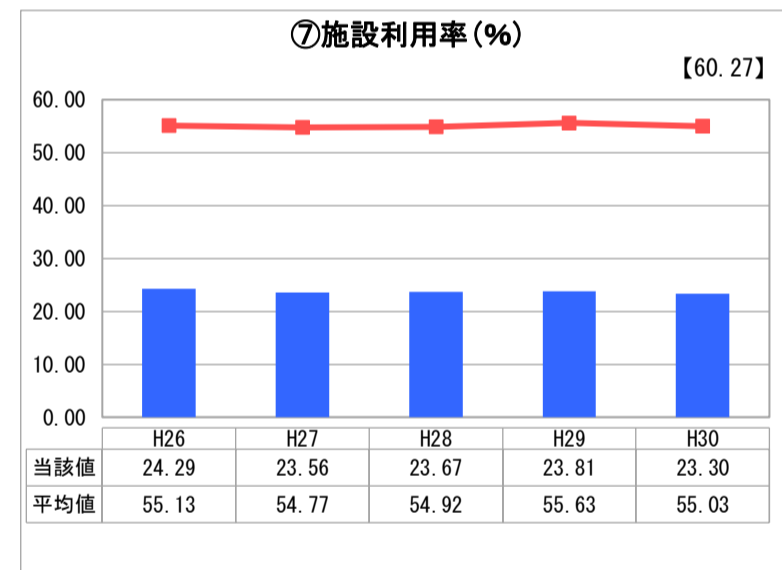
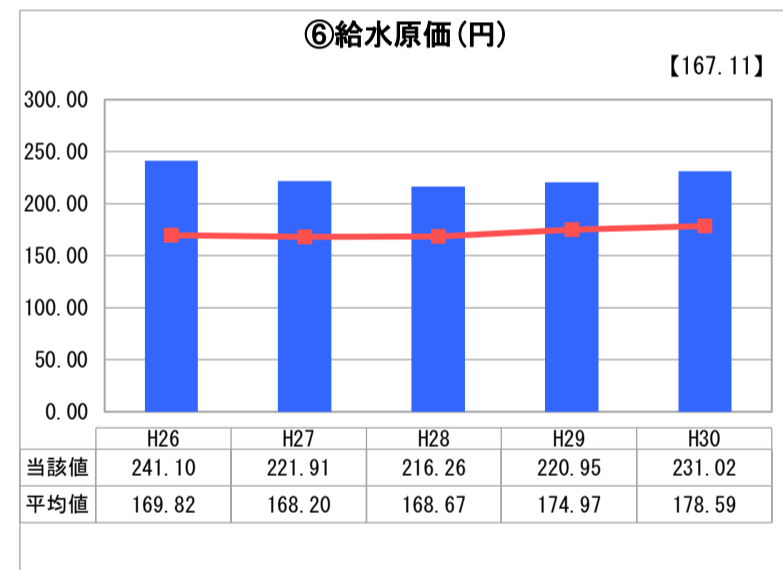
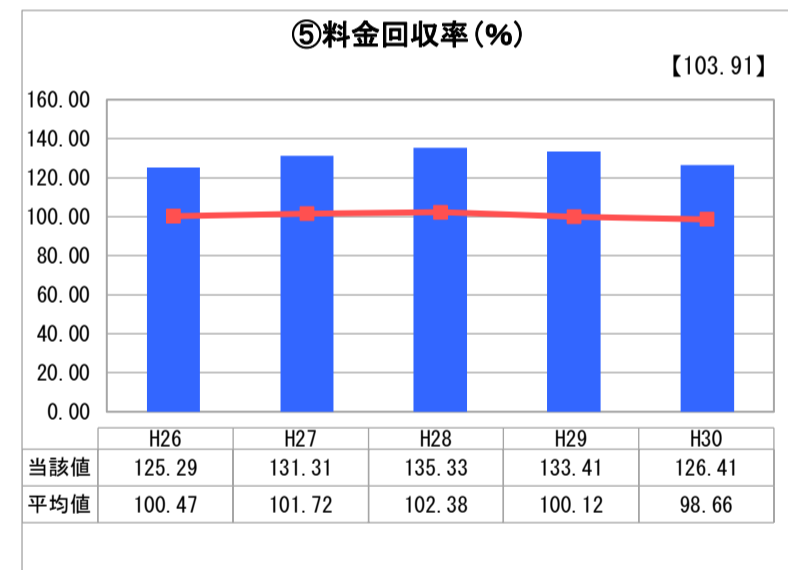
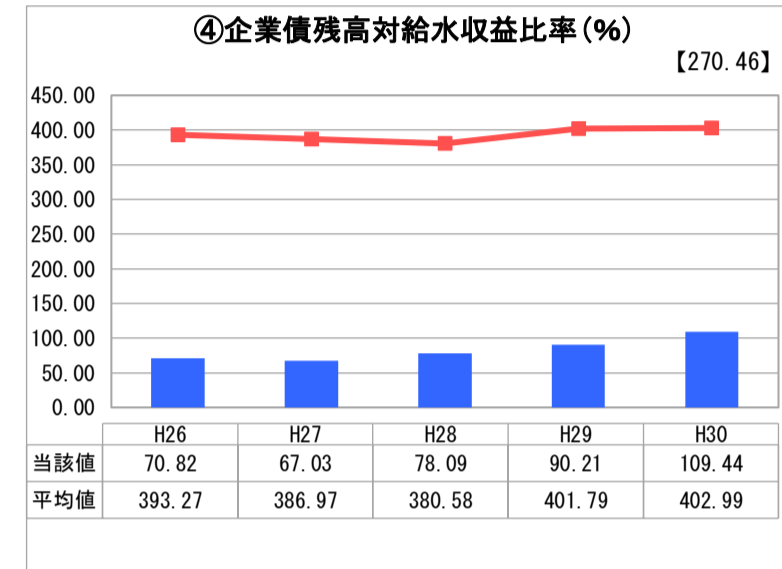
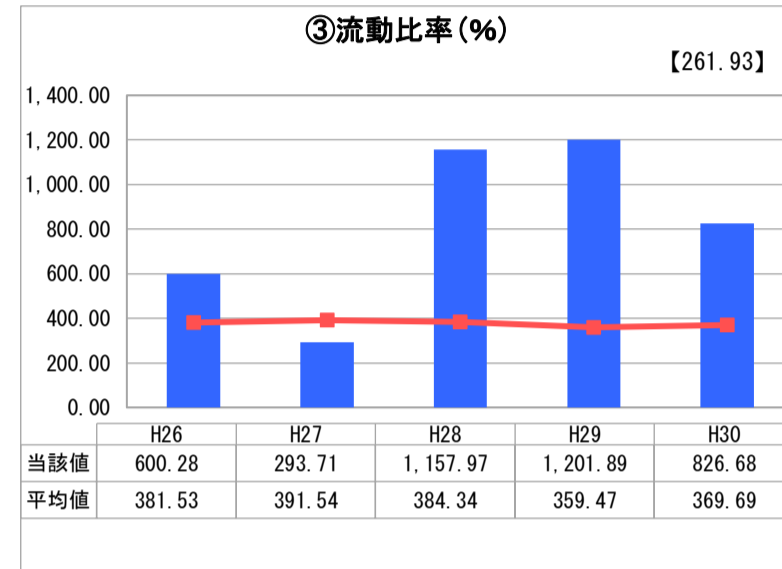
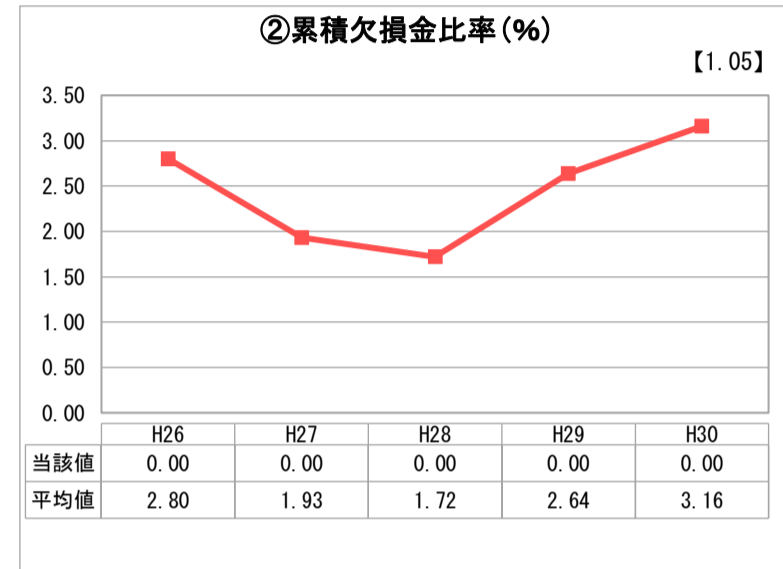
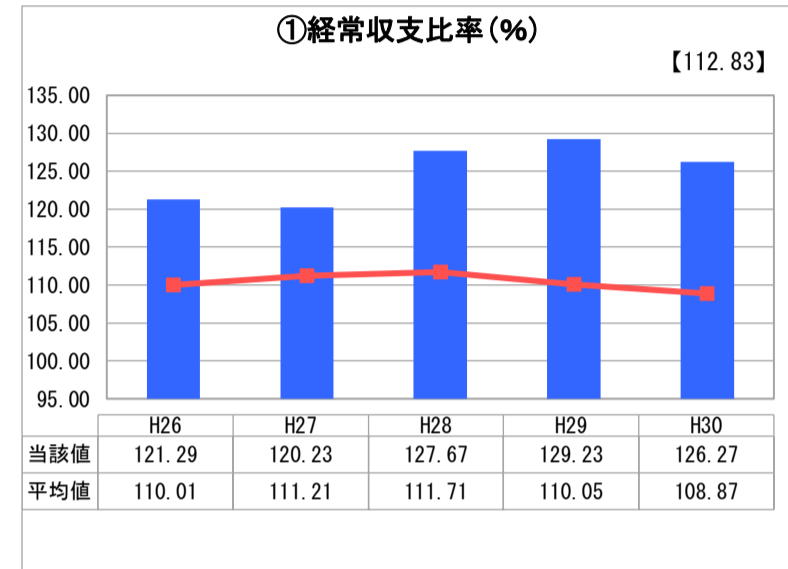
三重県 鳥羽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.57	99.89	2,970	

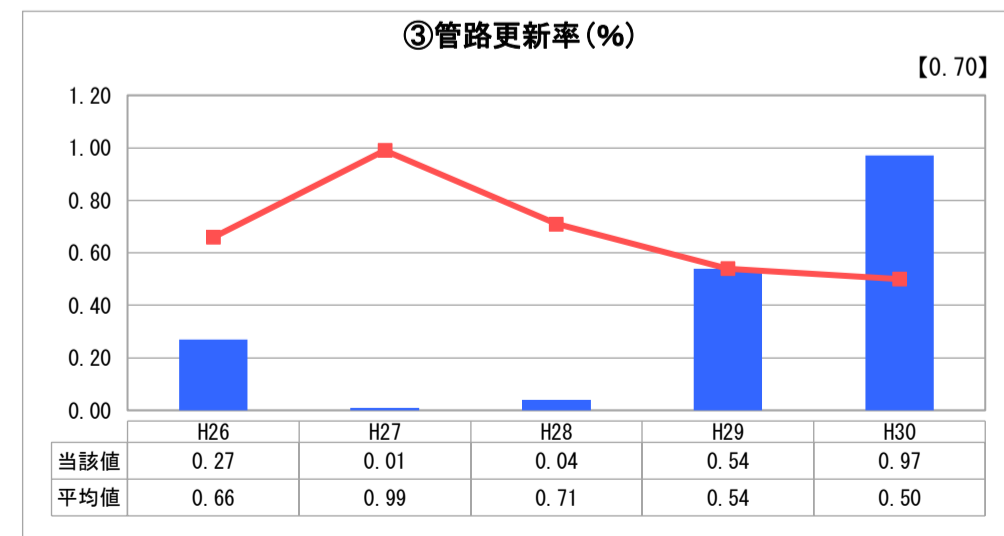
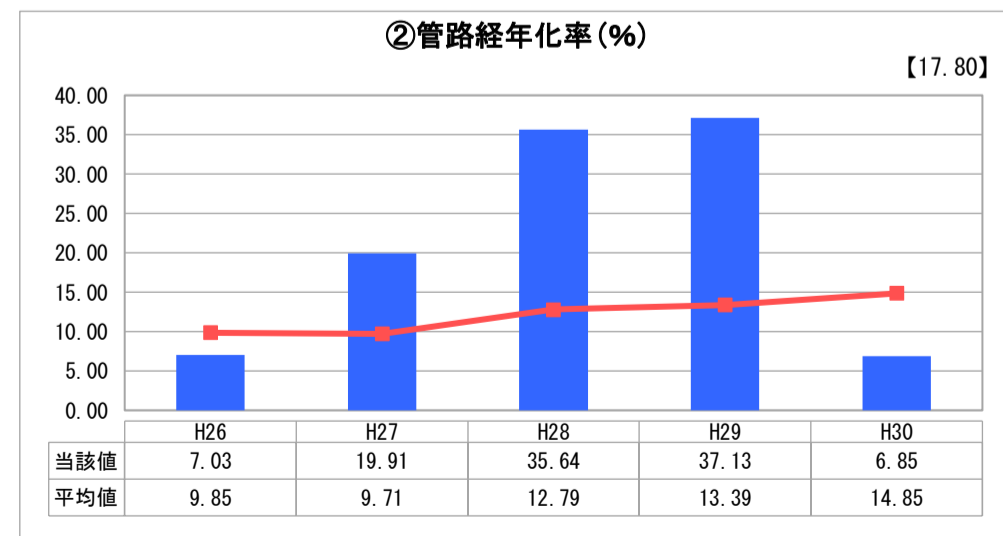
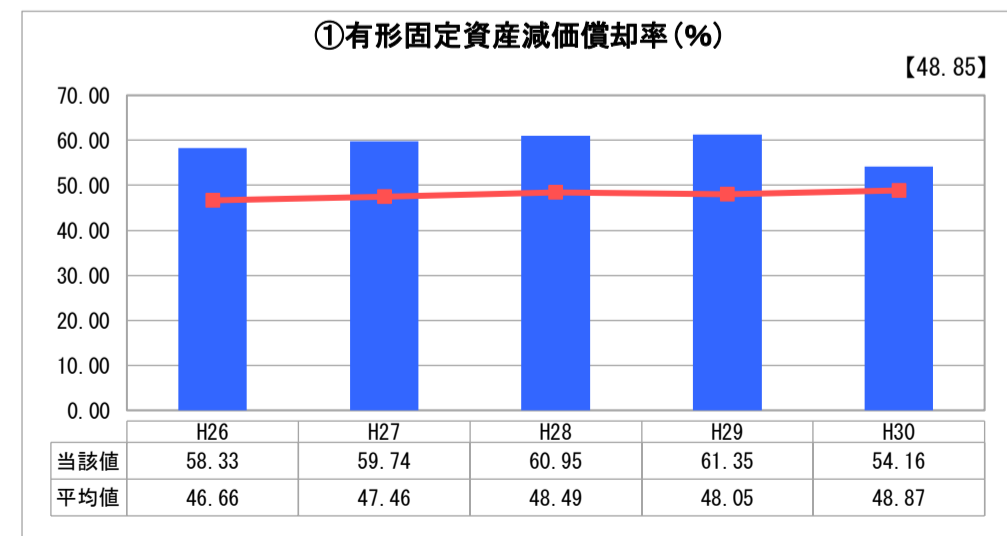
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,875	107.34	175.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,596	107.34	173.24

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率は、前年度より減少したものの、過去5年間を見ても100%を上回っていることから収支は比較的良好といえる。さらに料金回転率をみても100%を上回っていることから給水収益で経営に必要な経費を賄えているといえ経営が安定していることが見てとれる。

施設利用率は、類似団体平均値よりも低いが、これは人口及び観光客の減少によるものであることから今後の施設更新時にはダウンサイジングを視野にいれ施設能力の縮減を行い経費の節減と安定的かつ効率的な施設整備を目指す必要がある。

有収率は、継続的に実施している漏水調査により類似団体平均値より高い有収率を保っている。今後もこの数値を向上できるように努力することが求められる。

2. 老朽化の状況について

大規模な水道施設の受贈により、有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は減少、管路更新率は増加となり、老朽化が改善されているように見えるが、従来からある施設については、老朽化が進んでいることには変わりはないことから、今後も老朽管の更新や耐震化事業の実施を計画的に行う必要がある。

全体総括

現在の経営状況は比較的良好であるといえるが、さらに費用の削減に努めていく必要がある。

また、水道事業を取り巻く環境は、水道施設の老朽化への対応や地震に強い管路の整備などが急務となっていることから施設のダウンサイジングをはじめとした効率的な改良により安心安全な水供給を図る上で欠かせない経営基盤の確立が必要となる。